

# News Release

## 電源コード及び配線器具による事故の防止（注意喚起）

3月16日に神奈川県で、延長コードをねじり接続したことが原因と推測される火災が発生しました。また、2月11日には静岡県で、コードリールの定格容量を超えて使用していたことが原因と推測される火災が発生しており、電気製品の電源コード及び延長コード（配線器具）による事故が連続して起きています。



(写真)電源コードのねじり接続

電源コード及び配線器具は、電気製品に電力を供給する重要な役割を担う部分ですが、見た目での危険を認識しづらく、誤った取扱いを続けることによって電源コードが異常発熱して事故に至るおそれがあります。

電源コード及び配線器具の事故防止のための注意喚起に関しては、平成27年1月29日（木）にも実施しているところですが、今回、電源コード及び配線器具が原因と推測される事故が発生したことをふまえ、事故を防止するため、再度注意喚起を行うこととしました。

なお、NITE（ナイト）に通知された製品事故情報<sup>※1</sup>において、平成21年度から平成25年度までの5年間に、「電源コード類の改造・修理等、不適切な接続によって接続部の接触不良が生じ、異常発熱した」事故は36件<sup>※2</sup>、「配線器具の定格を超えて電気製品を使用していたため、電源コードが異常発熱した」事故は12件ありました。

被害状況別に見ると、死亡事故 2件、軽傷事故 3件、拡大被害38件、製品破損<sup>※3</sup> 5件となっています。

これらの事故のうち、火災と判断されたものは20件（41.7%）ですが、いずれの事故においても、電源コード等の異常発熱によって電源コードやタップ類、電気製品、周囲の家具等が焼損しており、重大な事故へと至るおそれがあるため、注意が必要です。

（※1）消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故（ヒヤリハット情報（被害なし）を含む）。

（※2）平成26年11月28日現在。施工業者の施工不良による事故、施行者が不明な事故は除外する。

（※3）被害状況別で、人的被害と同時に物的被害が発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。

## 1. 事故の概要

(1) 平成 27 年 3 月 16 日（神奈川県、死亡、女性、50 歳代、10 歳代）

### 【事故の内容】

使用中の延長コード付近から出火して、住宅の一部を焼損し、家人 2 人が死亡した。

### 【事故の原因】

延長コードのマルチタップ根元付近で、他の延長コードとねじり接続した状態で、テレビ、電気ポット、ヒーター等複数の電気製品を使用していたため、ねじり接続部で接触不良となり、異常発熱して芯線間でショート・スパークが生じ、火災に至ったと推定される。

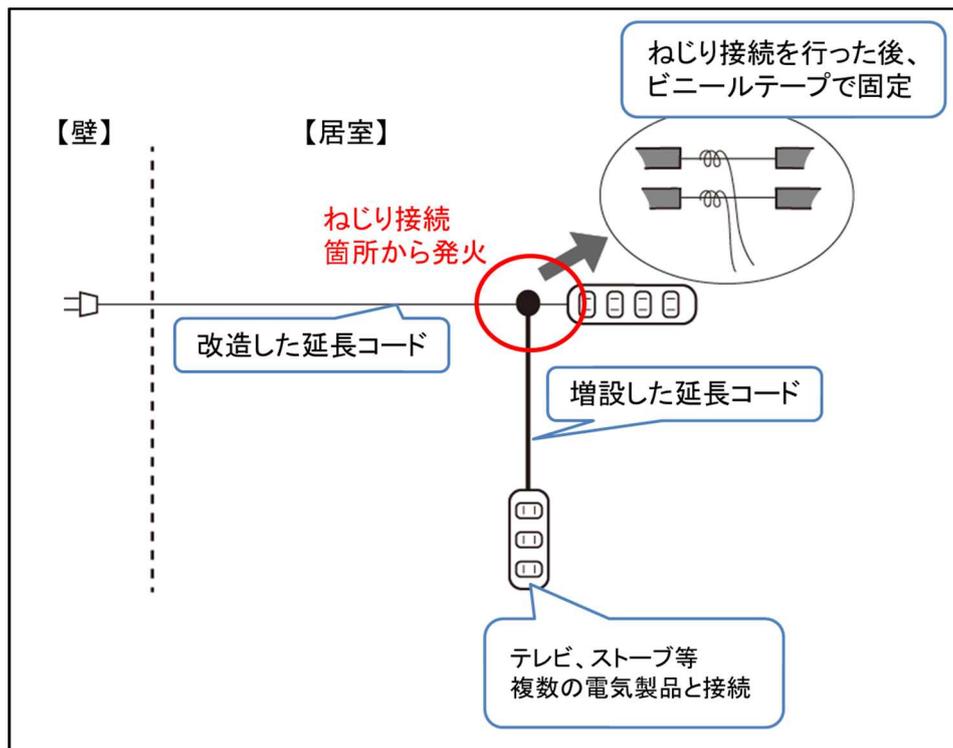


図 事故発生当時の延長コードの接続状況

(2) 平成 27 年 2 月 11 日（静岡県、拡大被害、性別・年齢不明）

### 【事故の内容】

使用中のコードリール付近から出火し、建物を全焼した。

### 【事故の原因】

コードリールは、ほとんど巻き取られた状態であり、巻き取り時の許容電流量を超える電気製品を接続して使用したため、過電流によりコードが発熱し、ショート・発火したと推定される。

## 2. NITE に報告された類似事故の発生状況

平成 21 年度から平成 25 年度までの 5 年間に NITE(ナイト)に通知された製品事故情報のうち、今回の事故に類似する事故事例について、(1)～(3)に示します。

### (1) 現象別 製品別 事故件数

表 1 に「現象別 製品別 事故件数」を示します。

製品別に見ると、「電源コード類の改造・修理、不適切な接続（ねじり接続等）で接続部の接触不良が生じ異常発熱した」事故は、エアコン・冷風機及び電気暖房機器において多く発生しています。

また、「配線器具の定格を超えて電気製品を使用していたため、電源コードが異常発熱した事故」は、延長コード・テーブルタップ及びコンセント付の家具等において多く発生しています。

表 1 現象別 製品別 事故件数（単位：件）※4

	件数
電源コード類の改造・修理、不適切な接続（ねじり接続等）で接続部の接触不良が生じ異常発熱した	36
エアコン・冷風機	14
電気暖房機器	8
除湿機	4
その他（炊飯器、照明器具、扇風機等）	10
配線器具の定格を超えて電気製品を使用していたため電源コードが異常発熱した	12
延長コード・テーブルタップ	7
その他（コンセント付家具等）	5

(※4) 平成 26 年 11 月 28 日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

(2) 現象別 被害状況別 事故件数

表2に「現象別 被害状況別 事故件数」を示します。

人的被害が5件（死亡2件、軽傷3件）発生していますが、これはいずれも火災を伴う事故となっています。

表2 現象別 被害状況別 事故件数<sup>※5</sup>

現象の内容	被害状況	人的被害			物的被害		被害なし	合計
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損		
電源コード類の改造・修理、不適切な接続（ねじり接続等）で接続部の接触不良が生じ異常発熱した		1		2	29	4		36
		(1)		(2)				(3)
		[1]		[2]	[16]			[19]
配線器具の定格を超えて電気製品を使用していたため電源コードが異常発熱した		1		1	9	1		12
		(1)	(1)	(3)				(5)
		[1]						[1]
合計	事故件数	2	0	3	38	5	0	48
	被害者数	(2)	(1)	(5)				(8)
	火災件数	[2]	[0]	[2]	[16]			[20]

(※5) 平成26年11月28日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。( )は被害者数。[ ]は火災件数。

人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。

(3) NITEに報告された類似の事故事例

- ① 電源コード類の改造・修理・不適切な接続で、接続部の接触不良が生じて異常発熱  
平成21年10月31日（岩手県、死亡、性別・年齢不明、使用期間約2年）

【事故の内容】

火災が発生し、1人が死亡した。現場に温水ルームヒーターがあった。

【事故の原因】

温水ルームヒーターの室外機の電源コードをねじり接続し使用していたことから、接続部で接触不良による異常発熱が生じ、火災に至ったと推定される。

- ② 配線器具の定格を超えて電気製品を使用していたため、電源コードが異常発熱  
平成26年1月2日（滋賀県、死亡、男性・20歳代、使用期間不明）

【事故の内容】

コードリール付近から出火して住宅を全焼し、1人が死亡、3人が重軽傷を負った。

【事故の原因】

定格を超える電気製品を接続し、コードリールからコードを全て引き出さない状態で使用したことから、コードが異常発熱して芯線間で短絡・スパークが生じ、出火したと推定される。

### 3. 電源コード及び配線器具による事故の防止

電源コード及び配線器具等による事故を防ぐため、取扱説明書の注意事項をよく読み、正しく使用していただくとともに、機器の異常や事故の予兆に早めに気がつくことが必要です。

不具合や故障が判明した時は、使用を中止して、お買い求めの販売店や製造事業者等に相談してください。

#### ① 電源コードを改造・加工・修理しない

電源コードをねじり接続などによって他のコードと途中接続する、断線部分をビニールテープで補修する等、電源コードの改造、加工及び修理は行わないでください。

接続不良によって、発煙・発火するおそれがあります。

(写真) ねじり接続の様子



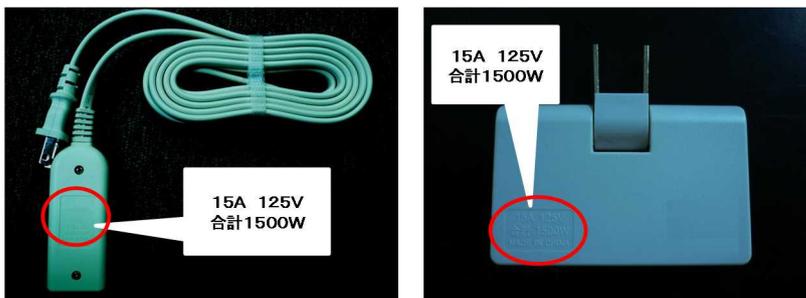
#### ② コンセントに接続可能な最大電力を超えて使用しない

一つのコンセントで使用できる電気の容量には限りがあります。

テーブルタップに電気製品を接続する際は、接続可能な最大電力を超えないよう注意してください。

接続できる電気製品の合計消費電力は、テーブルタップ本体やパッケージに記載されている場合があります。複数の電気製品をテーブルタップに接続する際には、それぞれの消費電力を確認し、合計が超えないよう注意してください。

消費電力の限度内であっても、オイルヒーターなどの暖房器具やエアコンなど、テーブルタップの使用を禁止している製品があります。接続する電気製品の取扱い説明書を確認してください。



また、コードリールの場合、コードを巻き付けた状態と引き出した状態とでは、使用できる消費電力が異なります。

接続できる電気製品の合計消費電力は、コードリール本体やパッケージに記載されている場合があります。複数の電気製品を接続する際は、それぞれの消費電力を確認し、合計が超えないよう注意してください。



【参考 主な電気機器の消費電力目安】

製品名	消費電力	製品名	消費電力
アイロン	1,200～1,400W	オイルヒーター	500～1,500W
ヘアドライヤー	600～1,200W	セラミックヒーター	1,200W
掃除機	1,000～1,100W	電気温風暖房機	600～1,200W
電子レンジ (30 Wクラス)	1,500W	電気カーペット	250～750W
ホットプレート	1,300W	電気こたつ	500W
オーブントースター	1,300W	エアコン (100 ボルト)	440～1,040W
食器洗乾燥機	1,200～1,300W	除湿機	300～600W
電気ポット (湯沸かし時)	700W	加湿器	20～300W
炊飯器	350～1,200W	空気清浄機	10～90W
冷蔵庫	150～500W	プラズマテレビ (50 インチ)	400～500W
		液晶テレビ (50 インチ)	120～160W

### ③ 事故の予兆に注意する

電気製品を使用中、以下のような現象が見られる場合は使用を中止して、電源プラグをコンセントから外し、お買い求めの販売店や製造事業者にご相談してください。

- ブレーカーが頻繁に落ちる
- 異音や異臭がする
- 電源コードを動かすと、製品の電源が消えたり入ったりする
- 電源コードや電源プラグが部分的に熱くなる
- 電源コードの一部が破れている、傷が入っている、内部の配線が見えている
- 電源コードの一部が硬くなっている、こぶができています

#### 【NITE が実施した過去の注意喚起・関連情報】

電源プラグ・コード及び配線器具による事故の防止 (注意喚起) (平成 27 年 1 月 29 日)

<http://www.nite.go.jp/jiko/chuikanki/press/2014fy/prs150129.html>

#### お問い合わせ先

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター 所長 大福 敏彦  
 担当者 長田、池谷、西澤

- 記者説明会当日  
 電話：03-3481-6566 FAX：03-3481-1870
- 記者説明会翌日以降  
 電話：06-6942-1113 FAX：06-6946-7280